

編・転入学選抜Ⅰ期／Ⅱ期 募集要項2025

募集人員

若干名

出願資格

■2年次希望

◆次のいずれかに該当する者。

- ①4年制大学または短期大学を卒業した者、または2025年3月に卒業見込みの者。
 - ②高等専門学校を卒業した者、または2025年3月に卒業見込みの者。
 - ③専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者(ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る)。
 - ④高等学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者(ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る)。
 - ⑤4年制大学または短期大学に1学年以上在学し(休学期間を除く)、30単位以上を修得した者(※1)。
 - ⑥本学が、①～⑤の表記内容と同等以上の学力があると認めた者(※2)。
- ※1…30単位を修得できなかった者は、入学を取り消します。
※2…出願資格⑥で受験を希望される方は、出願開始の2ヶ月前までに広報入試課までお問い合わせください。

■共通

外国籍の方は、上記に加えて、出願時点で、公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催する日本語能力試験(JLPT)における「N2」以上の資格保有者、もしくは独立行政法人日本学生支援機構が主催する日本留学試験(EJU)「日本語」における「読解」/「聴解・聴読解」の合計が「220点以上」の者。

※編・転入学選抜Ⅱ期における留学生の出願は国内在住者に限ります。

※国費留学生で上記の日本語能力に該当しない場合は、出願開始の1ヶ月前までに広報入試課へ相談してください。

※卒業・修了見込で入学試験に出願・合格し入学手続きを完了した者が、2025年3月31日までに卒業・修了しなかった場合は、入学資格を取り消します。

※入学に際して必要な留資格を取得することができない場合は、入学資格を取り消します。

■3年次希望

◆次のいずれかに該当する者。

- ①4年制大学または短期大学を卒業した者、または2025年3月に卒業見込みの者。
 - ②高等専門学校を卒業した者、または2025年3月に卒業見込みの者。
 - ③専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者(ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る)。
 - ④高等学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者(ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る)。
 - ⑤4年制大学または短期大学に2学年以上在学し(休学期間を除く)、62単位以上を修得した者(※1)。
 - ⑥本学が、①～⑤の表記内容と同等以上の学力があると認めた者(※2)。
- ※1…62単位を修得できなかった者は、入学を取り消します。
※2…出願資格⑥で受験を希望される方は、出願開始の2ヶ月前までに広報入試課までお問い合わせください。

入学年次

編・転入学年次は2年次または3年次です。選択年次により募集学科が異なりますので本要項8～9ページをご確認ください。

入学後の単位認定:出身学校で修得した単位を、3年次入学は62単位、2年次入学は31単位程度を上限に、認定します。

※教職課程を履修する場合、最短の修業年限で免許取得に必要な所定科目等をすべて履修することができず、卒業と同時に教員免許状を取得できない場合があります。

※博物館学芸員課程を履修する場合、最短の修業年限で資格取得に必要な所定科目等をすべて履修することができず、卒業と同時に学芸員資格を取得できない場合があります。

入学試験日程

区分	出願期間(WEB) および検定料支払	出願書類郵送締切※1	試験日※2	合格発表	入学手続き 期間
編・転入学選抜 Ⅰ期	10/4(金) 00:00 10/17(木) 23:59	検定料支払後 10/18(金) 当日消印有効	11/23(土) 集合時間 13:40 面接開始 14:00 ※3	12/1(日)	合格発表 入学金 12/13(金) 当日消印有効 学費等 1/6(月) 当日消印有効
編・転入学選抜 Ⅱ期	1/6(月) 00:00 1/16(木) 23:59	検定料支払後 1/17(金) 当日消印有効	3/1(土) 集合時間 9:40 面接開始 10:00 ※3	3/7(金)	合格発表 3/14(金) 当日消印有効

◆学科間の併願はできません。ただし、3年次希望の映像表現学科 映画コースとアニメーションコースについては、コース間の併願が可能です。

※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。

※2 受験票は試験2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。

インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所を切り取ったものを試験当日にご持参ください。

※3 出願者数により、集合・面接時間は変更する場合があります。その際は別途通知します。

検定料

35,000円

持参物

受験票、作品(詳細は本要項4～5ページを参照)

選考・配点

志望理由書+持参作品+面接
(総合評価)
200点満点

提出書類

各入試区分の出願書類郵送締切日までに簡易書留速達郵便にて郵送してください(締切日消印有効)。

ただし、国外から出願の場合は、出願書類郵送締切日までに必着とします。

本学所定の様式は神戸芸術工科大学ウェブサイト「募集要項・入試ガイド・出願書類のダウンロード」のページ(<https://www.kobe-du.ac.jp/exam/download/>)からダウンロードしてください。

※書類は特に指定がない限り原本を提出してください。

※必要に応じて下記以外の書類の提出を求める場合があります。

	インターネット 志願票	履歴書 (本学所定様式)	志望理由書 (本学所定様式)	卒業(見込) 証明書 または 修了(見込) 証明書	在学証明書 または 在籍証明書	成績証明書	現在履修中の 科目の 単位証明書	シラバス または 講義概要	本人であることを 証明する書類 および 日本語能力に ついての書類
出願資格 ①	●	●	●	●	○ 在学中の方のみ	●	○ 在学中の方のみ	●	○ 外国籍の方のみ
出願資格 ②～④	●	●	●	●		●	○ 在学中の方のみ	●	○ 外国籍の方のみ
出願資格 ⑤	●	●	●	○ 発行可能な 場合のみ	●	●	○ 在学中の方のみ	●	○ 外国籍の方のみ

▶ インターネット志願票

▶ 履歴書(本学所定様式)

外国籍の方はすべての項目を記入してください。

※各種証明書に記載されている入学年月・卒業年月とインターネット志願票や履歴書の記載が一致しているか、よく確認してください。

▶ 志望理由書(本学所定様式)

▶ 卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書

▶ 在学証明書または在籍証明書

出身校の学校長が作成したものを提出してください。

▶ 成績証明書

出身校の学校長が作成したものを提出してください。

▶ 現在履修中の科目の単位証明書(在学のみ)

在学中の者は現年次で履修中の科目、単位を証明する書類を提出してください。上記BとCが1枚になっているものは、そのまま提出してください。

▶ シラバスまたは講義概要

上記BとCに記載されている科目すべての、修得単位数や到達目標、授業内容、そして授業時間数(または単位に対する授業時間の説明文)がわかる書類
※出身学校のウェブサイトや、発行する冊子物等に掲載されている該当科目のページと出身学校名がわかるページをコピーまたは印刷し、BとCの記載
順どおりに並べて提出してください。コピーまたは印刷する用紙のサイズはA4判に統一してください。

※日本語または英語以外の言語で記載されている場合、日本語または英語の翻訳を添えて提出してください。

上記A～Cの証明書について

日本語または英語で記載された証明書を提出してください。日本語または英語以外の言語で記載されている場合、日本語または英語に訳し、大使館・領事館・公証人などの公的機関(在学中に限り日本国内所在の日本語学校も可)において、原本と訳本の内容に相違ないことの証明を受けた上で、原本と翻訳の両方を提出してください。また、すべての書類には公的機関(在学中に限り日本国内所在の日本語学校も可)の公印を必要とします。※詳細は3ページ「証明書の翻訳について」をご確認ください。

※複数の学校に在籍していた場合は、必ず出願開始1ヶ月前までに広報入試課までお問い合わせください。

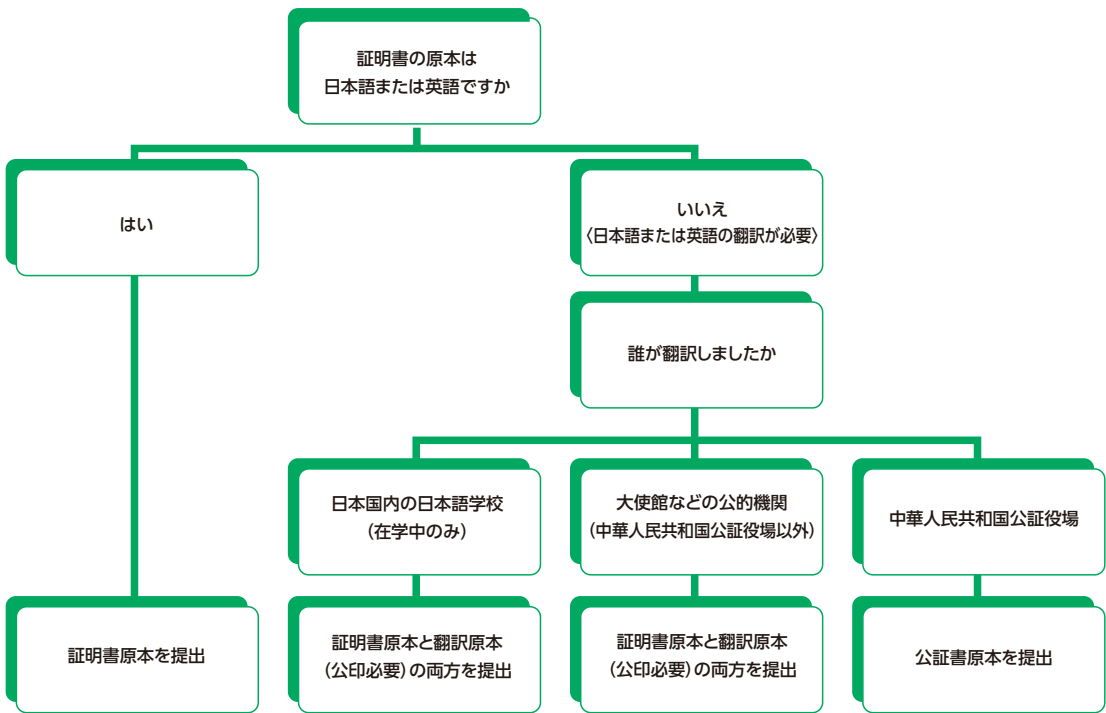
外国籍の方は上記に加えて、下記書類を提出してください。

- 本人であることを証明する書類
 - 全員……………パスポートのコピー（氏名及び顔写真が記載されたページの見開きコピー）
 - 日本国内在住者……………パスポートのコピーに加えて、在留カードの両面コピー
 - ※必要に応じて上記以外の書類の提出を求める場合があります。
- 日本語能力についての証明書
 - 次のいずれか、または両方
 - 日本語能力試験（JLPT）……………合格結果通知書、日本語能力認定書、認定結果および成績に関する証明書のいずれか ※コピー可
 - 日本留学試験（EJU）……………成績通知書、成績証明書、成績確認書のいずれか ※コピー可

※成績確認書（コピー可）を提出する場合は、対象となる日本留学試験を下記のとおりとします。
成績通知書または成績証明書（コピー可）を提出する場合は、日本留学試験の実施年度や実施回は問いません。

入試区分	対象となる日本留学試験
編・転入学選抜Ⅰ期	2022年度 第2回（11月実施） 2023年度 第1回（ 6月実施） 2023年度 第2回（11月実施） 2024年度 第1回（ 6月実施）
編・転入学選抜Ⅱ期	2023年度 第1回（ 6月実施） 2023年度 第2回（11月実施） 2024年度 第1回（ 6月実施） 2024年度 第2回（11月実施）

証明書の翻訳について



出願に関する注意

- 出願の流れの詳細は、「入試ガイド2025」10～13ページを参照してください。
- 出願は簡易書留速達郵便に限り、それ以外の受付は一切おこないません。
- 必要書類の郵送は出願書類郵送締切日消印有効です。ただし国外から出願の場合は出願書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。
- 書類に不備のある場合は受理できません。
- いったん受理した出願書類は返却できません。
- 入試において、氏名等に含まれる旧字体を常用漢字に置き換えて記載することがあります。
- 書類は指定がない限り、原本を提出してください。
- 自筆を要する内容は油性黒色ボールペン（細字、0.7mm程度）を使用してください。赤・青・緑色など黒色以外のものや、鉛筆、消せるボールペン（インク）の使用は不可とします。

全学科共通

デジタル作品や映像作品を持参する場合は、パソコン・タブレット・スマートフォンなどの再生装置に記録して持参してください。再生装置やバッテリー、インターネット回線の貸出はおこないません。映像作品を持参する場合は、限られた時間内に提示できるようにしてください。

建築・環境
デザイン学科

建築・環境デザイン分野への適性を判断する材料としますので、自ら制作の意図や制作過程における工夫などを説明できる作品や、建築・環境デザイン分野への学習意欲をアピールするための資料を持参してください。具体例としては、以下のようなものがあげられます。

- ・学校の授業で取り組んだデッサンや立体造形などの作品
- ・クラブ活動や地域行事などで取り組んだことの成果品や、活動の記録をまとめた資料
- ・自宅学習で制作したイラストや模型などの作品・地域の行事などへの参加体験をまとめた記録
- ・興味を持ったインテリア、建物、街並みについて、調べたり感じたりした内容をまとめたレポート

生産・工芸
デザイン学科

プロダクトデザイン、ファッション・テキスタイル、クラフト分野に関するものを必ず実物3点以上持参してください。

作品は、デッサン、絵画、イラスト、デザイン案、図面、模型、彫刻、フィギュア、陶芸、ガラス、金工、写真、自作の衣服やアクセサリなどのファッションアイテム等、「受験生本人が制作した実物」です。他に、参考資料として作品の写真をまとめた「作品ファイル」、文化イベント（文化祭や展覧会など）の企画運営に参加した人は、その「資料ファイル」なども可とします。

ビジュアル
デザイン学科

デッサン、絵画（油絵、水彩画等）、イラストレーション、イメージ表現、色彩構成、ポスター、写真、映像作品、立体作品、クロッキー帳やスケッチブックにまとめられたアイデアスケッチやラフスケッチ、自分でデザインした冊子や絵本など、幅広くビジュアルデザインに関連するものを5～10点を目安に持参してください。（デッサンなど、持ち運べる大きさの手描き作品は、現物を持参していただく方が望ましいです）

メディア
芸術学科

過去3年以内の作品を持参してください。絵画、イラスト、まんが、映像、立体物等、作品の種類は問いません。自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を現物、あるいはポートフォリオにまとめたものを持参してください。パソコン、タブレット端末で閲覧できるものでもかまいません。

写真作品、コマ撮りアニメ、コンピューターアニメーション、実写映像などについては絵コンテなどの中間成果物、デジタル作品に関しては中間データを確認できる形で持参してください。また、自作フィギュア、学校行事に関する創作物などの立体作品や、未完成の絵画、イラスト、まんが作品など、その他何でも構いません。

絵を描く受験生は、自由に絵やイラストを描いている「落書きノート」や「スケッチブック」（「40ページ以上のノートやスケッチブック、クロッキー帳」または「40ページ（20ポケット）以上のクリアブックにまとめたポートフォリオ」）を必ず持参してください。

「スケッチブック」「落書きノート」を見たいのは入試では見られないみなさんの可能性を探すためです。恥ずかしがらないで、これは入試向きかそうでないかなどと自分で判断せず、日頃描いている「落書き」をなるべくたくさん持ってきてください。またデッサンのみを持参作品とすることは避けるようにしてください。

※持参作品およびPR資料の一部を参考例として選んだものであり、必ずしも、これらの内容に限定するものではありません。

全学科共通

デジタル作品や映像作品を持参する場合は、パソコン・タブレット・スマートフォンなどの再生装置に記録して持参してください。再生装置やバッテリー、インターネット回線の貸出はおこないません。映像作品を持参する場合は、限られた時間内に提示できるようにしてください。

環境デザイン
学科

環境デザイン分野への適性を判断する材料としますので、自ら制作の意図や制作過程における工夫などを説明できる作品や、環境デザイン分野への学習意欲をアピールするための資料を持参してください。具体例としては、以下のようなものがあげられます。

- ・学校の授業で取り組んだデッサンや立体造形などの作品
- ・クラブ活動で取り組んだことの成果品や、活動の記録をまとめた資料
- ・自宅学習で制作したイラストや模型などの作品
- ・地域の行事などへの参加体験をまとめた記録
- ・興味を持った建物や風景について、調べたり感じたりした内容をまとめたレポート

プロダクト・インテリア
デザイン学科

下記を複数点持参してください。

- ・美術の授業や実習で取り組んだデッサン、絵画、デザイン案、図面、立体作品、模型（写真）など
- ・総合学習や科目学習（歴史・地理・生物・化学など）、クラブ活動で取り組んだ個人あるいはグループ課題の提出物
- ・体育祭や文化祭で制作したスタッフグッズ、パンフレット、チラシなど
- ・自主的に取り組んだ分野での成果品や活動記録（趣味、ボランティア活動など）

ビジュアル
デザイン学科

デッサン、絵画（油絵、水彩画等）、イラストレーション、イメージ表現、色彩構成、ポスター、写真、映像作品、立体作品、クロッキー帳やスケッチブックにまとめられたアイデアスケッチやラフスケッチ、自分でデザインした冊子や絵本など、幅広くビジュアルデザインに関連するものを5～10点を目安に持参してください。（デッサンなど、持ち運べる大きさの手描き作品は、現物を持参いただく方が望ましいです）

映像表現学科

◆デジタルクリエーションコース

過去3年以内の作品を3点以上持参してください。絵画、イラスト、映像、立体物等、作品の種類は問いませんが作品として完成されているもの。文化祭等、一定規模の活動記録も認める場合があります。3点以上含まれていればポートフォリオにまとめたものやパソコン、タブレット端末で閲覧できるものでもかまいません。

◆映画コース

自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を、現物、あるいはポートフォリオや映像などの形でまとめて、可能な限り多数持参してください。作品や取り組みの範囲は限定しません。

◆アニメーションコース

2Dアニメーションを学びたいとPRできる過去3年以内の作品（主として「キャラクター」「模写」「デッサン」「透視（空間図）」などをまとめた「40ページ以上のノートやスケッチブック、クロッキー帳」または「40ページ（20ポケット）以上のクリアブックにまとめたポートフォリオ」を1冊以上必ず持参してください。静物デッサンのみは不可。落書きでも構いませんので、アップや全身など、できるだけ多様な絵が含まれていることが望ましいです。＜具体例：デッサン（人物・動物・メカニック・静物など）、絵画、イラストレーション、キャラクターデザイン、風景スケッチ、漫画、ラフ画など＞

また、自分の個性や得意な事柄をアピールする追加的な資料として、下記もあれば持参してください。

- ・学校行事に関するポスターなどの作品、クラブ活動の刊行物などの絵画作品など
- ・写真作品、コマ撮りアニメ、コンピューターアニメーション、実写映像などの映像作品と作品に係る絵コンテなどの中間成果物
- ・自作フィギュア、学校行事に関する創作物などの立体作品
- ・資格証明書、クラブ活動などの業績を示す賞状、ボランティア活動記録など

ファッション
デザイン学科

スタイル画、自作の衣服やアクセサリなどのファッションアイテム、スタイリング集、イメージカラーージュ、鉛筆デッサン、イメージ表現、イラスト、写真など、学校の授業、各種習い事、自宅で制作した成果物。映像などのデジタル作品は出力するパソコン等の再生装置を持参してください。文化祭、クラブ、ボランティアの活動資料をまとめたファイルなども可とします。

アート・クラフト
学科

持参作品は、試験当日に試験会場に持ってくる作品です。必ず実物の作品を3点以上持参してください。作品は、絵画、デッサン、イラスト、彫刻、フィギュア、陶芸、ガラス、金工、デザイン、写真など「受験生本人が制作した実物」です。他に、参考資料として、作品の写真をまとめた「作品ファイル」や、文化祭や展覧会など、文化イベントの企画運営に参加した人は、その「資料ファイル」なども可とします。

※持参作品およびPR資料の一部を参考例として選んだものであり、必ずしも、これらの内容に限定するものではありません。

※まんが表現学科の募集はありません。

受験に関する注意

1. 映像表現学科はコース単位で選考をおこないます。その他の学科は学科単位で選考をおこないます。
2. **受験票は事前に配信します。各自でダウンロードして印刷し、所定の箇所で切り取ったものをご用意ください。**
試験の2日前になっても配信通知が届かない場合は、広報入試課までお問い合わせください。
3. 試験の前日(前日が日・祝の場合はその前日)は建物内の立入を禁止します。
4. 試験会場の駐車場の使用はできません。可能な限り公共交通機関を利用してください。
※自動車の利用が必要な方は試験日の2日前までに広報入試課までお問い合わせください。
5. **試験当日は必ず受付を済ませてから試験室に入室してください。**
6. 特に指定がない限り、受付は集合時間の45分前からおこないます。
7. **集合時間までに試験室に入室し、指定の席に着席してください。**
8. 試験開始後30分以上遅刻した者には原則として受験を認めません。
9. 試験室には時計がない場合もありますので時計を持参してください。
10. 下記の不正行為、周囲に迷惑のかかる行為等があった場合は退場を命じ、すべての試験を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。また、提出された書類・資料等及び入学検定料は返還しません。
 - ①出願の際に提出した書類・資料、提供した情報、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入等を行うこと。
 - ②カンニング(試験教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)を行うこと。
 - ③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けを行うこと。
 - ④配布された問題用紙(冊子)・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑤解答開始時刻(監督者の指示)の前に、問題用紙(冊子)を開いたり解答を始めること。
 - ⑥試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類・各試験で使用を許可されたもの以外の物を使用すること。
 - ⑦解答終了時刻(監督者の指示)後も「終了」の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けること。
 - ⑧試験時間中に私語、用具の貸し借り、許可なく自席を離れること。
11. 受験票を忘れたり紛失した場合は、速やかに受付に申し出て仮受験票の発行を受けてください。
12. 服装は自由です(試験結果には一切関係ありません)。
13. 食堂及び購売部は営業しません。昼食が必要な場合は持参し、指定された座席で食事をとってください。
14. 試験当日、学外(敷地外)でおこなわれている営業やサービスの案内は、本学とは一切関係ありません。
15. 採点は指定された解答用紙に記載された内容のみを対象とします。解答用紙以外への解答は白紙解答とみなします。
16. 試験当日は、受験生及び教職員以外は構内立ち入り禁止とします。付添者控室の設定はありません。
17. やむを得ず試験日時や選抜方法などを変更する場合があります。神戸芸術工科大学ウェブサイトにて最新情報を確認してください。

その他

特別配慮を必要とする方へ

障がい等のある方で、受験の際、特別な配慮を必要とされる場合は、指定の期日までに、申請書類を郵送してください。詳細及び申請については下記URLをご参照ください。

<https://www.kobe-du.ac.jp/exam/support/>

(配慮の事例)

- ・入退室がしやすい座席を確保し、座席までの動線(段差、ドアの開閉等)を確保する。
- ・聴覚障がい、言語障がい、発達障がい等の障がいがあり、音声のみによる説明(試験開始終了の合図等)に支障がある場合、必要に応じて説明内容を書面で提示する。

成績開示について

本学では、入学者選抜及びスカラシップ試験の結果について、受験生本人の成績開示請求に基づき、評点と合格(認定)最低点を開示します。詳細及び申請については下記URLをご参照ください。

https://www.kobe-du.ac.jp/exam/grade_disclosure_request/

記録写真の撮影／入試作品について

入学者選抜の際、記録写真を撮影する場合があります。

記録写真や入試作品は、展示または入試資料への掲載をすることがあります。あらかじめご了承ください。

個人情報の取扱いについて

出願の際に提出された住所・氏名・その他の個人情報は、個人情報保護法に基づき、適切な管理を行い、入学者選抜、合格発表、入学手続き及びこれらに付随する事項、各種統計処理・分析を行うために利用します。

上記業務を遂行するにあたり、機密保持契約を締結した業務委託業者に対して、業務に必要な範囲で、提出された個人情報の全部または一部を提供することがあります。その場合、委託先に対し、安全かつ適切な管理を行うよう、本学が監督します。

また、個人が特定されないように統計処理した個人情報のデータは、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用するほか、進学希望者等への情報公開に使用します。あらかじめご了承ください。

感染症による試験当日の欠席について

本学入学者選抜において、学校保健安全法(学校保健安全法施行令、学校保健安全法施行規則を含む)で出席停止が求められている感染症に罹患し、治癒していない受験生は、他の受験生に感染のおそれがあるため受験できません。その場合は納入済の入学検定料全額を返還します。詳細及び申請については下記URLをご参照ください。
https://www.kobe-du.ac.jp/exam/fee_refund/

再受験時の入学検定料

●再受験時の入学検定料 5,000円
一般選抜Ⅱ期／Ⅲ期＜大学入学共通テスト利用型＞と他の区分の間に、再受験の入学検定料特例はありません。

【同一区分内の学科・コース併願の入学検定料の特例】

●2学科(コース)目以降の入学検定料 0円

※再受験とは、一度本学の2025年度入学試験の結果を受けた受験生が、当該年度に別の区分で再度受験することを指します。

合否等

- 1. 合否は郵送のみで本人宛に通知します(郵便事情により遅れることがあります)。電話等による問い合わせには一切応じられません。また、学内・ウェブサイトでの掲示もおこないません。
- 2. 同一入試区分で同一学科(コース)を複数科目受験する場合は、最も得点の高い科目が合否判定の対象となります。
- 3. 複数の学科(コース)で合格基準を満たしていた場合、志望順位が上位の学科(コース)のみ合格を通知します。

入学手続き

- 1. 複数の学科(コース)で合格基準を満たしていた場合は、合格通知書に記載の学科(コース)に入学手続きをしていただきます。
- 2. 合格発表後、入学手続き期間内に入学金・学費を納入し、必要書類(合格発表の際に案内)を提出してください。指定する期日までに手続きを完了しない場合は、入学資格を取り消します。

入学金・学費等

(単位=円)

種別		前期 (入学手続き時納入額)	後期 (入学後10月納入額)	年間
入学金(入学時のみ)		200,000	—	200,000
学費	授業料	525,000	525,000	1,050,000
	教育充実費	275,000	275,000	550,000
計		1,000,000	800,000	1,800,000

※その他の納入金
教育後援会会費 40,000円(在学期間分)
学生フォーラム会費 20,000円(在学期間分)
同窓会組織KDU-Net入会費 10,000円

※次年度以降の納入金は、入学金を除く学費(授業料・教育充実費)の金額です。
※各学科によって異なりますが、入学後、教材費・実習費が必要となります。

入学金の返還

入学生が本学大学院・学部卒業生の子やまたは兄弟姉妹、在学生の兄弟姉妹の場合は、当該入学生の入学金を入学後に返還します。
兄弟姉妹が同時に入学する場合は、入学金の徴収は1名のみとし、余剰分を入学後に返還します。
※入学後に申請を要します。

入学辞退

入学手続き完了後に入学辞退を表明し、入学金以外の納付金の返還を希望される場合は、速やかに入学辞退届・納付金返還願(入学手続き書類に添付)に必要な事項を記入の上、入学手続き完了通知書(すでに受領済みの方のみ)及び通帳の写等、口座情報を確認できるものと一緒に、必ず2025年3月31日(月)までに到着するよう、簡易書留速達郵便で提出してください(必着)。期日を過ぎて提出された入学辞退届・納付金返還願に対しては、受理しかねますので納付金の返還はできません。
※納付金の返還については、上記書類を受理してから処理するまで3週間程度かかります。

アドミッションポリシー [入試で求める人物像]

芸術工学部 [2年次希望募集学科]

神戸芸術工科大学では、人間にかかわる関係諸学を総合的にとらえ展開する「芸術工学」の教育・研究を通じて、広い教養、専門的知識、能力、技術とコミュニケーション力を備えたデザイナー、アーティスト、クリエイターを養成する。それにあたり、芸術工学部では、必要な素養(知識、観察力、論理的思考力、表現力、造形力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力)を持つ人やそれらを学ぶ意欲を持つ人物を求める。

- ・ 教育内容が理解できるための、基礎的な知識・技能を持っている。
- ・ 人間と社会全般に対する興味、関心を持っている。
- ・ 表現することに対する意欲を持っている。
- ・ 自ら課題を発見し、創造的に考え、解決、行動しようとする意欲を持っている。
- ・ 大学での学びをとおして、人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っている。
- ・ 特定の分野で卓越した能力を持っている。

建築・環境デザイン学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、都市からインテリアまでの多様な空間スケールを対象とする建築・環境デザインにおいて、都市・地域空間や生活環境などの質を持続的に向上させ、社会を持続可能な環境に変えていく力を身につけた空間デザイナーやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、多様な空間(環境)の創出・再生デザインのための基礎的知識をもとにしたリサーチからデザインを展開する力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・ 教育内容が理解できるための、基礎的な知識・技能を持ち、主体的に学ぶことができる。
- ・ 人々が暮らす環境・空間について幅広い興味、関心を持っている。
- ・ 多くの人とのコミュニケーションを通して、相手の立場に立ちながら自分の考えを構築し、表現する意欲を持っている。
- ・ 自ら学び未来を切り開く意欲をもち、社会や環境に対する観察力によって自ら課題を見だし、その解決に向けて柔軟に思考できる。
- ・ 大学での学びを通して、環境・空間のデザインを通して人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っている。
- ・ 建築・環境デザインに関する分野で卓越した能力を持っている。

生産・工芸デザイン学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、デザインの思考力をもって解決することで人々の暮らしを豊かにするデザイナー、アーティストやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、プロダクトデザイン、ファッション・テキスタイル、クラフトにおける専門性と幅広い知見、技術及び表現力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・ 生活用品、電気製品、家具、雑貨、ファッション、テキスタイル、ガラス、陶芸、ジュエリー、フィギュアなどライフスタイルに関わるデザインやアートに興味関心がある。
- ・ 論理的に分析する思考力と豊かな発想力がある。
- ・ 鋭い観察力と芸術的な表現力がある。
- ・ 社会で起こっている事象に目を向け、社会貢献に関心がある。
- ・ 思考の異なる人と話し合い、コミュニケーションが取れる。
- ・ 新たな目標に向かい、計画的に事柄を進めることができる。

ビジュアルデザイン学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、時勢に対応する表現方法や伝達方法、横断的な発想や企画力を駆使し、ビジュアルデザイン分野における創造的な社会活動や芸術的表現を志し、デザイナー、アーティストやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、グラフィック・コミュニケーションデザイン、WEB・デジタルデザイン、エディトリアルデザイン・イラストレーション領域におけるデジタルな手法と、古典的な手作業の修練、専門知識と実践的能力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・ グラフィック、広告、ブランディング、本、雑誌、Web、イラストレーション、絵本などに強い関心、興味を持っている。
- ・ 社会的事象や自然に対する優れた観察能力がある。
- ・ 論理的な批評・分析能力と、豊かな感性を持っている。
- ・ 周りの人との適切なコミュニケーションをとり、相手の立場になって考え、表現ができる。
- ・ 新たな時代を切り開くデザインや表現に挑戦する意欲がある。

メディア芸術学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、芸術的感性をバックボーンとし、最新技術及び構造的知識をもって、創造的な表現活動を通じて社会に貢献するデザイナー、アーティストやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、メディア芸術分野における専門性と幅広い知見、技術及び表現力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・ まんが・アニメ・映画・CG・ゲームなどのメディア芸術に対する知的関心を持ち、懸命にその表現方法を学修していこうという意欲を持っている。
- ・ メディア芸術の制作を通じて、主体的に多様な人々と協議し、学びを深めようとする。
- ・ まんが・アニメ・映画・CG・ゲームなどを楽しむのが好きで、自分の鑑賞力や表現力を高め、いずれは制作活動や研究を行いたいという意欲を持っている。
- ・ メディア芸術の制作を通じて、個人や社会に対する自分の考えを発信していきたいという意欲を持っている。

アドミッションポリシー [入試で求める人物像]

芸術工学部 [3年次希望募集学科]

神戸芸術工科大学では、人間生活に最も適合する科学技術を発展させるため、人間の立場から総合的に科学技術を駆使する「芸術工学」の教育研究を通じて、人文、社会、自然の諸科学にまたがる芸術的感性と豊かな教養を融合し、人々を豊かにする総合的視野をもつ新たな表現に挑戦するデザイナー、芸術工学の教育研究を通して新たな時代を切り拓く創造性豊かな研究者や指導の実務を担うクリエイターの養成に必要な素養(知識、観察力、論理的思考力、表現力、造形力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力)や姿勢を持つ人を、多様な入試を用い、各学科・コースごとに選抜を行う。

環境デザイン学科

環境デザイン学科では、自然・歴史・社会・経済・文化などの多様な背景を持つ建築・ランドスケープ・都市・地域環境において新たな時代に呼応できる創造的構想力と表現力を持つ空間デザイナーやクリエイターを養成する。

●求める学生像

次のような素養や姿勢を持つ人を求める。

- ・人々が暮らす環境、建築やランドスケープなどについて幅広い分野への興味と好奇心のある人
- ・基礎的な知識と学力にもとづき、主体的に学ぶことのできる人
- ・自ら課題を見だし、その解決に向けて柔軟に思考できる人
- ・多くの人とのコミュニケーションを通して、相手の立場に立ちながら自分の考えを構築し表現できる人
- ・社会の事象や自然環境への関心を持ち、自ら学び未来を切り開く意欲のある人
- ・基礎学力とともに、得意な分野における特に突出した学力をもつ人

プロダクト・インテリアデザイン学科

プロダクト・インテリアデザイン学科では、変化する社会のニーズを鋭敏に把握し、使う人々の心身の多様性を理解し、モノやコト、誰もが心地よく暮らせる空間をデザインできるデザイナーやクリエイターを養成する。

●求める学生像

次のような素養や姿勢を持つ人を求める。

- ・生活用品、電気製品、家具、雑貨などへの興味と強い関心のある人
- ・美しさ、楽しさ、心地よさを素直に感受し、自らも創造し伝えたいと思う人
- ・未来のデザインに活かすために、自然や歴史、文化を尊重できる視野の広い人
- ・自分や他者の「不満」、「不安」、「不便」を敏感に察知し、解決のために創意工夫する姿勢をもつ人
- ・他者と異文化との出会いを大切に、社会に貢献することを楽しいと感じられる人
- ・既成概念にとらわれず、未知の「モノ・コト」に興味を持ち、デザイン提案に挑戦する意欲のある人

ビジュアルデザイン学科

ビジュアルデザイン学科では、現代の情報社会で必要とされるビジュアルコミュニケーションにおいて必須となるデザインの表現技術と想像的構想力をもつデザイナー、クリエイターを養成する。

●求める学生像

次のような素養や姿勢を持つ人を求める。

- ・グラフィック、本、雑誌、Web、イラストや絵本創作への興味や関心のある人
- ・社会的な事象や自然に対する優れた観察能力をもつ人
- ・論理的な批評・分析能力と、豊かな感性をもつ人
- ・まわりの人と適切なコミュニケーションをとり、相手の立場になって考え表現ができる人
- ・新たな時代を切り開くデザインや表現に挑戦する意欲のある人

ファッションデザイン学科

ファッションデザイン学科では、ファッションを通じて新しいライフスタイルを提案することができるデザイナーを養成する。

●求める学生像

次のような素養や姿勢を持つ人を求める。

- ・衣服・テキスタイルやファッションマーケティングに興味や関心のある人
- ・あらゆることに積極的に興味を持ち、感受性に富んだ人物であること
- ・考えの異なる人々と議論し模索するコミュニケーション力を有していること
- ・自身の創作目的を追求する姿勢を持つこと。ものづくりにおいて、柔軟な適応力と論理的思考力が秀でていること
- ・情報の解釈と創作活動において、主体性と向上心を兼ね備えていること

映像表現学科 ◆デジタルクリエーションコース ◆映画コース ◆アニメーションコース

映像表現学科では、映像に関する多様な表現領域に新たな価値を提供する技能や能力を養成する。徹底した少人数で専門的な教育を行うため、デジタルクリエーションコース、映画コース、アニメーションコースの3コースごとに選抜を行う。

◆デジタルクリエーションコース

デジタルクリエーションコースでは、デジタルコンテンツ創成に関する論理的思考力、サイバーフィジカルな環境におけるコミュニケーション能力、メディアテクノロジーを背景とした芸術的表現力、デザイン思考力および社会的倫理観もつクリエイターを養成する。

●求める学生像

次のような素養や姿勢を持つ人を求める。

- ・映像、音楽、CG、アニメーション、ゲームなどのコンテンツ創成分野やエンターテインメント分野において、作品の制作やこの分野の研究について積極的な興味がある人
- ・芸術系、理数系、文科系といったジャンルを問わず、観察力、表現力、論理的思考力、芸術的な感性力などの中に、特別な興味や能力のある人
- ・柔軟で多様な発想表現を可能にするための芸術的表現能力をもつ人
- ・主体的に学修し、学ぶことによって成長しようとする向上心のある人
- ・考えの異なる人々と議論し模索するコミュニケーション力を有し、共に切磋琢磨する意欲をもつ人

◆映画コース

映画コースでは、映画制作、映像表現の基礎と応用について学び、映画・映像世界の活躍できる能力を養成する。

●求める学生像

次のような素養や姿勢を持つ人を求める。

- ・映画・映像制作、またシナリオ・小説を書き表すことに興味や関心のある人
- ・高次のクリエイターを目指そうとする強い意欲、姿勢を持つ人
- ・柔軟な姿勢で粘り強くコツコツと努力を続け習得しようとする姿勢をもつ人
- ・映画と映画映像創作を真摯に探求しようとする意欲をもつ人
- ・考えの異なる人々と議論し模索するコミュニケーション力を有し、共に切磋琢磨する意欲をもつ人

◆アニメーションコース

アニメーションコースでは、想像力である「アイデア」と表現力である「テクニック」を一つとして捉え、芸術として映像作品を創り出し、多くの人が関わる映像制作業界の中で自らの能力を発揮できるクリエイターを養成する。

●求める学生像

次のような素養や姿勢を持つ人を求める。

- ・アニメーションへの強い興味や関心のある人
- ・あらゆることに積極的に興味を持ち、グローバルな視点から物事を考えることができる人
- ・創造力豊かで柔軟な姿勢をもつ人
- ・自分の創造力や感性を磨こうとする意志があり、さまざまなことを知識だけでなく自分の目で判断しようとする意欲をもつ人
- ・主体的に学修し、学ぶことによって成長しようとする向上心がある人
- ・考えの異なる人々と議論し模索するコミュニケーション力を有し、共に切磋琢磨する意欲をもつ人

アート・クラフト学科

アート・クラフト学科では、絶えず変化し複雑化する現代社会に対応しうる広い見識と個性的な創造力を有する美術家や工芸家、あるいは教育者を養成する。

●求める学生像

次のような素養や姿勢を持つ人を求める。

- ・絵画、フィギュア、彫刻、ガラス、陶芸、ジュエリー、メタルワーク、また美術教育に興味や関心のある人
- ・自然と人間社会、かたちや色彩への観察力をもつ人
- ・柔軟で多様な発想力を持つ人
- ・論理的に分析する思考力と人間の感性を理解しコミュニケーションができる人
- ・芸術的な表現力、言語力や理解力をもつ人

※まんが表現学科の募集はありません。

